土地の所有者・管理者の皆様へ

SAPPORO

アメリカオニアザミ

を見つけたら、ご近所に拡散してしまう前に、駆除・処分してください







アメリカオニアザミは、ヨーロッパ原産のキク科植物で、全体に棘があります。

７～９月頃に紫色の花を咲かせます。
種はタンポポのように綿毛がついており、風に乗って広がります。

繁殖力が強く、在来植物の生育場所を占領してしまう恐れがあり、環境省の生態系被害防止外来種に指定されています。

ご自宅の庭などの敷地内で見つけたら、生息域を広げないよう、可能な範囲で駆除のご協力をお願いします。

【駆除の方法】

１．花が咲く前に
花が咲き、種をつける前の対策が効果的です。

２．トゲに注意
長袖・長ズボンを着用し、皮手袋や厚手の丈夫なゴム手袋を着用してください。軍手では貫通する場合があります。花が咲き終わり、枯れたものでもトゲは残っています。

３．根っこごと
根や株が残っていると再生します。根ごと駆除することが理想です。
（花・種の部分を切り取って処分するだけでも、拡散は防ぐことができます。）

４．道具
トゲが固く鋭いので、手で引き抜かず、草刈鎌などで刈り取るか、スコップで周囲の土ごと掘り返してください。

５．種子の飛散、トゲに注意して処分
駆除したものをそのまま放置すると、種が飛散する恐れがあるため、放置せずに燃やせるごみとして処分してください。
袋に入れる際には、収集作業員がケガをしないよう、新聞紙などでくるむ、袋に「トゲ注意」の表示をするなどのご配慮をお願いします。



葉



茎



花

※他人の所有地・管理地は、無断で駆除を行わないでください。
※他の植物を誤って駆除しないようご注意ください。

さっぽろ市
02-J02-26-1610
R8-2-1103

作成：札幌市 環境局 環境共生担当課（TEL：011-211-2879）